

2023
夏
16号

かわら版

チャランポランの会
夢と笑いの

シニアのシニアによるシニアのための会報誌

特集

メディケア保険とメディカル保険
シアトルの日本人・日系人のシニア生活
全米日系人博物館のポランティア

MOREY

チャランポランの会は何をする会？

チャランポランの会は、シニアを応援する会です。高齢者の貴重な経験と、そこから得た知識を共有し、次世代に伝えていく媒体になることです。

- ** 会報誌「かわら版」(年3~4回発行)を通して、シニアの方々を元気にしてまいります。
- ** 交流の場を提供し、楽しみや生きがいを持てるようにします。
- ** シニア向けの講演会、イベントを開催していきます。(当分は米国)

入会ご希望の方

チャランポランの会には世界中のシニアの方であれば、どなたでも会員になれます(未来のシニアの方も歓迎)

- ** 年会費：なし
- ** 手続き：下記のインフォメーションをご記入の上、郵送またはEmailにてお申し込みください。
- ** 氏名 * 住所 * 電話番号 *かわら版を何でお知りになりましたか *出身地 *Eメールアドレス(オプション) * 生年月日(オプション)をお書きの上、次の送付先にお送り下さい。

【郵送先】 CharanPoran USA
4733 Torrance Blvd., #768
Torrance, CA 90503

【Eメール】 katsm2390@gmail.com

「かわら版」創刊号から今日に至るまで多くの読者の皆さまから心温まるお言葉と共にドネーションを頂いております。ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。この会は連邦政府からNPO (Non-Profit Organization)非営利団体として認可(501. C. 3)を受けております。

「かわら版」への投稿方法

- 川柳・俳句・短歌：お一人一句一首
 - お便りコーナー：200字以内に限る
- 住所、氏名、年齢(オプション)、電話番号、Emailを明記の上、郵送またはEメールでお送りください。尚、都合により内容を割愛、一部変更させて頂く場合もございますのでご了承下さい。
- 投稿が多数の場合は「かわら版」編集部で選定の上、掲載または次号への持ち越しとさせていただきます。

「かわら版」へのご意見・ご感想をお気軽にお寄せください。
CharanPoran USA まで郵送、またはEメールにてお送りください。

会の名称

『チャランポラン』

私達、発起人は二十代から六十代まで長い間、一応真面目に仕事し、子供を育て、一社会人・一家庭人としてそれなりの責任を果たして来ました。ふと気が付いて見ると、もう高齢者です。昔の元気はなく、体力も落ちました。これからの人生をいかに生きるかと考える時、やはり明るく元気に過ごしたいものです。それには今までの常識の枠を離れ、自由な新しい発想や考え方で生きるのが良いのではと思います。

その理想が「チャランポラン」です。一見、「真面目や責任」とは対極にある考えのようですが、今まで以上に豊かに生きるために必要なキーワードかなと思います。認知症防止のためにも、是非皆さん、一緒に楽しく、チャランポランに生きましょう!

チャランポランの会

運営委員・かわら版

土田三郎 宮里 カツ 太田 勉
古口友紀

CharanPoran USA
4733 Torrance Blvd., #768
Torrance, CA 90503 U.S.A.
☎ (310)600-5612
(メッセージを必ずお残し下さい)
Katsm2390@gmail.com
www.charanporanusa.com

玉井純夫 ワシントン州

文藝春秋六月号の「蓋棺録」欄に、鋭い言語感覚でわたしの好きな詩人で作家の富岡多恵子の名を見つけた。このお悔やみ記事の末尾に「老衰、87歳」とあった。死因として普通は癌だとか心筋梗塞と書かれるが、老衰は病名ではないし、今時珍しいな、と思った。人が死んだ時、いったい何歳以上だと「老衰」と言われるのだろうか、とも思った。

シアトルから消えた日系の老人介護施設のお話をしようと思います。当地への最初の日本からの移民は1883年で、ロサンゼルスに次いで数の多い日本人の移住拠点となりました。太平洋戦争が始まる直前のシアトルの日系人の数は一万人を超えていたと言われています。わたしも属しているシアトル・タコマ福岡県人会は1907年の創立で、今年で116歳になりました。最初の日系老人ホームは、1922年にシアトルで設立され、「日本人老人会館」で、地元の日本人社会からの支援によって運営され、高齢者たちが共同生活を送りながら、食事や医療のケアを受けることが出来ました。また、日本の文化や習慣を保持するための活動やイベントも行われ、日本人コミュニティの絆を深めました。しかし、日米戦争勃発後の1941年末には、米国政府による日系人強制収容政策の影響で、このシアトルの日系老人ホームも閉鎖されました。

戦後は日系二世の世代をも含むシアトル日本人社会の高齢化も進み、加えて米連邦政府の補助金がシ



日系のシニア施設（2019 閉鎖）

ニアホームに提供されるようになったことと相俟って、日系市民団体が中心になって医療施設なども併設された本格的な介護付き老人ホームの建設の機運が高まり、「敬老・ノースウエスト」が1976年に市内の旧日本人町にオープンしました。

開所時の建築費を含む資金調達は、米政府からの補助金とシアトルの日系人有志が担い、約120名の当初の入居者のほとんどが日系一世や二世の人たちでした。しかし、間もなく米政府の公費の支援を受けていながら人種差別に繋がる「日系人だけの介護施設」は容認できないと、黒人、ヒスパニック、他のアジア人の受け入れを強制されるようになりました。

となると、食事一つをとっても、和食中心の献立では日系人以外の入居者から文句が出ることになり、結局いろいろな人種のためのメニューが毎食必要となり、必然的に経費増に繋がって行くことになりました。施設の運営においては、資金調達やスタッフの採用など継続的な課題が頻発し、地域のサポートやボランティア活動の協力の限界を超え、2019年には遂にこの「敬老」老人ホームも永久閉鎖へと追い込まれてしまいました。これまで日系人を含む2万人以上のシアトルの高齢者をサポートして来て「シアトル敬老」と慕われましたが、その40年以上の歴史に幕を下ろすことになってしまいました。当地に日系のシニア施設がまったくなくなってしまったわけではありませんが、この年だけで、ワシントン州の13の有料老人ホームが経済的な事情で閉鎖されています。

わたしは二十歳になった1957年にシアトル大学に留学して、卒業後日本で大手商事会社に就職してニューヨーク、サンチアゴ（南米チリ）、東京、シアトルと転勤を重ねながら商社マンを勤めた後、45歳で独立して公認会計士事務所「シアトル国際会計」を立ち上げました。32歳で結婚し二人の子供と、今では三人の孫にも恵まれ、傘寿を迎えたのをきっかけにリタイア生活に入りました。幸い私ども夫婦は健康に恵まれ、わたしはもう間もなく87歳になるという馬齢を重ねました。わたしの番が来て、どこ



かに死亡記事が出たとしたら、やはり「老衰で」と書かれる年齢（よわい）になったのだと思う今日この頃です。

玉井純夫：

出生地：東京都杉並区

シアトル大学、州立ワシントン

大学院修士課程修了、CPA、

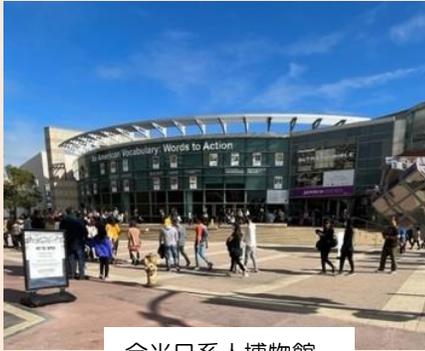
シアトル・タコマ福岡県人会会長（2005-2018）

全米日系人博物館日本語ドーセント

田島 喜八郎

祖父がアイダホに居住、父はアメリカ生まれ、その後日本に帰国の家族。私は日本で生まれ育ちましたが日本兵として戦死した父が住んだ国に行きたい思いで1968年に留学で渡米。

この私の家系からも、もっと早く日系人の歴史に興味を持つべきでしたが実際に博物館でボランティアドーセントを始めたのは渡米後38年経った17年前。博物館で日系人への差別、彼らの辛酸と払った犠牲を知った時、私は何の問題もなく留学できたことに感謝しました。日系人が苦勞して築いた日本人への信頼の歴史は多くの日系人の不屈の日本人魂、そして



全米日系人博物館

誇り、アメリカへの忠誠心、442部隊の犠牲と勇敢な戦いを経て勝ち取った勲章であると思います。

残念なのは当初在籍された442部隊、MIS所属であったボランティアの方々の話をもっと聞いておけば良かったと思うことです。収容所では幼少期であった他のボランティア、多くが2世、3世で祖父母、両親ほどの苦難は経験されていないかもしれませんが戦後の苦難の再出発の時代は経験されています。

しかし、私がかって話した方々からは一切日本への恨み不満は聞いたことがない。逆に1世世代から継承された日本人としての生き様、礼儀作法は脈々と受け継がれている。高齢化されているこれらのボランティアは苦勞しても立派な教育を受け差別が薄らいだアメリカ社会のいろいろな分野で活躍をされた歴史があります。博物館では皆さんが高い使命感と義務感をもって誇り高く日系人の歴史を後世に伝え



博物館ロビー

ていきたいとの思いで活動されています。又、訪館者を案内するため80歳過ぎてても元気で長寿の方々が多くおられます。日本への関心も高く、コロナ過の後、沢山のボランティアの方々が競って

日本を旅行されていることも嬉しいことです。

私も博物館で日本政府要人、企業幹部、駐在員、旅行者、大学生、高校生の皆さんを案内出来たことは本当に貴重な経験です。田舎育ちで話が不得意だった私も一人前に話しができるようになり感謝しています。戦後、新1世として渡米された私と同世代の方々にも是非、機会を見つけて全米日



日本からの来館者を案内・田島喜八郎

系人博物館を訪問して日系人の歴史に触れて頂ければ嬉しく思います。

みんなの広場

母が笑った

岡崎 昌彦 モントレーパーク

1948年の頃、広島駅の東側にバラック建ての闇市があった。馬糞紙を曲げた皿に茹で栗をならべて傍に一山1円50銭の札があった。中から子供が出て来てその栗を一つ盗って食べた。

その頃の映画館入場料は大人一人2円50銭であった。

「あら、食べちゃあ……」。するとお店の兄貴分が出てきて他の皿から栗を数個取って入れたので一山が大きくなった。母は喜んでその一山を買って帰った。食糧物資の乏しい頃である。



ある日、外米でも手に入ったと幸せだった時に、母が半年前の栗を思い出した。私たちが欲しそうに見ていたので一山を大きくしたお店の兄貴は商売人だと言うのだ。相手の方が一枚上だったと暫く笑っていた。

寄稿

ジジのババですが……

後藤 英彦 (元時事通信社特派員)

サンフランシスコ支局に大先輩の馬場さんという方がおいででした。取材者である私たちと取材の対象者の勤務先の距離が車で約20分以内であれば、面談のうえ取材活動をすることもままあるのですが、日本と比べてこなすべき仕事の量が多いのと、広いアメリカのことゆえ、守備範囲も日本の何十倍もあり、自然と出向くより電話で済ますことのほうが圧倒的に多くなります。この点はLAもNYも例外ではありません。

アメリカ人のオペレーターにこちらの名前と職業を告げ、支店長さんにつないでくれと電話口でお願いすると、100%日本語を話す日本人の支店長氏が出て来られます。当時は日本企業の国際化が全く進んでおらず、支店長も副支店長もほぼ例外なく日本人だったから、日系企業がらみの取材は当方にとっても随分と楽でした。電話の向こうの支店長氏のほうも多分ご同様に、相手が日本語を話す日本人特派員と知るとホッとしている様子がこちらにも伝わってきました。

話題を馬場さんに戻します。当の馬場さん、取材先の支店長氏に開口一番、「ジジのババですが」と言う電話口の相手は「ええ？」と言うなり一瞬、無言状態に陥り、こみあげて来る笑いを必死にこらえている様子が電話越しに伝わってくることもままあったそうです。ジジのババ？いきなり真剣勝負のビジネスマインドに変な駄洒落をかまされ、どう対応しようか、相手はいささか戸惑っている模様なのです。

すかさず「時事通信社でSF特派員をしている馬場という者です。いきなり笑わせる不始末、ごめん下さい」と言うと、そのコメントに相手はすっかり安堵、リラックスして、すぐ打ち解けた気分になりスムーズに取材に応じてくれたうえ、取材が終わると大抵、「そのうち一緒にしませんか」と昼か夜の接待にあずかったそうです。馬場さんは「ジジのババですが」と言う一口フレーズを意識的に効果的に使うことで、社外にたくさんの友人を獲得したとのこと。

これとよく似た話がLAに進出している日本企業にもありました。米国ニッサン自動車に勤務する豊田さん本人から直接聞いたことで決して作り話ではありません。アメリカにおいて日系の同業各社はここではライバルであると同時に日本に根を持つ日本企業という共通項に支えられています。米国ニッサンの幹部である豊田さんは当時、ライバルであると同時に仲間でもある米国トヨタ自動車に電話をかけた情報を交換する役目を担っていました。

米国トヨタに米国ニッサンの豊田さんが電話をかけます。電話を受けたトヨタの日本人社員が「ニッサンのトヨタですが」という豊田さんの声にどう反応したか。「ええ？」と聞き返す男性社員、冗談じゃないかと疑う男性社員、とっさにストーカーか悪ふざけの類と取る女性社員。誤解はすぐに解けるものの、時事通信社の馬場さんの「ジジのババですが」と同様、不意打ちの一言が電話口の相手の平常心をいささか乱すであろうことに異論の余地はありません。

たった一回の、電話取材あるいは仕事の連絡事項で、一瞬相手の意表をつき、ひるませておいて、たちまち笑みをもたらすこの魔法の一言はほんの一握りの人にもみ許される絶好の機会です。その意味で苗字と仕事からみてひょいと産まれたこの幸運は、微笑の神様が馬場さんと豊田さんに授けたプレゼントと言えるんじゃないでしょうか。



皆の広場

私の座右の銘

おたんこナース

今のままで。

おまえは確かに生まれた 何のために生まれたか？

おまえは確かに生きている 何を為せばよいのか？

おまえは確かに死ぬ 今のままで死んでも良いのか？

特集

メディケア保険とメディカル保険（上）

医師 入江 健二 Fellow of America Academy of Family Physicians (Life Member)

エレン村山さん（仮名）は 1931 年オアフ島ホノルル生まれ。4 歳で日本へ送られて東京都杉並区で成長。1952 年 21 歳で帰米し、いったん L.A. に落ち着いたのちハワイで結婚。お子さんには恵まれず、1997 年夫に先立たれてから、認知症の軽い兆候が現れ始めました。L.A. 在住のお姉さんの強い勧めがあって、2007 年 2 月 L.A. へ移住。お姉さん宅近くのアパートで一人暮らしを開始

その 2 か月後の 4 月、軽い風邪の症状で私のオフィスへ来られました。笑顔の優しい日本的な細面（ほそおもて）の女性で、当時 76 歳。甥っ子さんの車で来診されましたが、症状などを伺うと、呆けておられるとはとても思えませんでした。東京生まれでも両親の福岡弁で育てられた私に比べ、エレンさんの方が歯切れのよい東京弁でした。

しかし、その後付き添って来られたお姉さんや甥っ子さんに伺うと、朝食を済ませたか覚えていない、人との約束を忘れる、散歩に出かけて帰宅できなくなる、など認知症の症状は歴然。そのうち、鬱（うつ）の傾向も出て来ました。何しろハワイ生活が長く、親しい友人はハワイ在住。

「話す相手がなくて、とっても淋しいんです。ハワイに帰りたいです」と来診ごとに繰り返し、その優しい顔立から徐々に微笑（ほほえ）みが消えていきました。外へ出ると帰れなくなることもあって、引きこもりがちに。そのつれ認知症も進行。「ナベやヤカン」を焦がして、とても危険です」とお姉さんからそう訴えられるに及んで、私はご本人に看護施設入りを熱心に勧めました。

2012 年 1 月、エレンさんは旧敬老看護ホームの「認知症ユニット」へ入居。周囲が殆ど全て日本人・日系人という中で、人懐っこい性質も手伝ってエレンさんはすこぶるスムーズに新しい環境へ順応。おまけに親しい話し相手も出来、本来の明るさを取り戻しました。月一度の回診のたびにエレンさんの笑顔を見ることが、その頃の私にとって楽しみの一つになりました。

エレンさんのご主人の職業は聞き漏らしましたが、当時彼女が経済的に困っているという話は聞きませんでした。健康保険もメディケアに加え、ハワイ時代からの私的は補助保険（いわゆるサルリメントプラン）を維持しておられました。ところで、認知症ユニットの居住費は、人工栄養などの特別な介護が必要でない限り、メディケアはカバーしません。従ってエレンさんの場合も、2012 年の入居時から居住費は自己負担でした。一日 200 ドル超の居住費を支払い続けた結果、2016 年 6 月に敬老ホームが営利会社へ売却されたときには、エレンさんの居住費は既にメディカル（Medi-Cal）でカバーされていました。メディカルは低所得者用の政府管掌健康保険です。独身者の場合、当時は預金が 2000 ドル以上あるとメディカルに入れませんでした。ご主人とコツコツ蓄えた預金が、4 年足らずの間にどんどん減って、メディカル規定の 2000 ドル未満になっていたことが分ります。

ここにこの地に住む高齢者にとって重大な問題が含まれています。どなたも運よく長生きして歳をとれば、施設での介護が必要になります。医学の進歩で健康寿命が延びたなどと言われていますが、それでもいずれは施設が必要です。「自分は施設の世話にはならん」と豪語なさる方もありますが、ご本人はそのつもりでも、呆けたりストロークで倒れたりして結局は施設入りのケースが殆どとなります。手術や重症からのリハビリで施設入りすれば、初期はメディケアがカバーしますが、医学的社会的理由で入居が長引けば、居住費は自己負担となります。そして、蓄えが底をついて自己負担が出来なくなれば、かつての敬老ホームでは日本語のできるソーシャルワーカーの世話でほぼ自動的にメディカルが受けられるようになっていました。エレンさんのように、安心して居住を続けることが出来ました。（次号に続く）



お誕生日おめでとう！



お寿司は大好き！



Hair Cut しましょうね！

子供の頃にいつも喧嘩ばかりしていた二つ上の兄と一緒に、「友達も持っているハーモニカを欲しい!」と、オフクロに何度もお願いをしたことがあります。我家にはお金がないことは、子供心にも薄々に分かっていました。兄は、オフクロの顔を拝みながら「お手伝いをなんでもするからさあ」と、殺し文句で頼み、自分も真似をして「んだ、んだ(そうだ)ハーモニカ!」と、同じようにオフクロに手を合わせておりました。当時の家庭内のお願いは、オフクロ次第であることを、子供らは知っていました。

自分は東北酒田の農家で11名の大家族で三男坊として育ちました。大戦後の食料難の時代でしたから、農家といえどもコメは供出させられて我家の米櫃はいつも空っぽで、家族はみんながお腹を空かして、道端の草を選び分けながら畑の芋と一緒に食べたりした時代でした。そんな戦後の食糧難時代にも拘わらずオフクロは、子どもたちのお願いを叶えたいものと、何処からどのように入手したのか、箱に入ったハーモニカを取り出して、「兄弟でケンカしないで仲良く使いなさい。」と言いながら兄に手渡しておりました。当時は現金収入が無い時代。きっと内緒であったようです。

ハーモニカは、昔は子供へのプレゼントとして、音楽に触れる最初の楽器でした。寒村の中学の音楽教育でようやく利用が始まったばかりでしたから、安くはなかったように思います。ハーモニカは、美しい音色と舌の活用による波動効果があり、悲しみや喜び、哀愁や情熱などの感情を表現しやすい楽器です。初心者でも簡単にメロディを奏でることができ、聴く人にも良い印象を与えて、子供たちは喜んでいました。

「わーい、わーい、モッケダノー(申し訳ない)」と言って二人で騒ぎながら、その夜の寝床の中で、交替でハーモニカの取り合いが始まる。そんな時にオフクロに叱られるのはいつも兄のほうでした。「兄なんだから弟に譲りなさい!」

最初はただ音を出すだけでしたが、次第に音階が判ってくると、どちらが先に上手くなるか、また兄弟の争いが始まりました。この抗争心が向上をもたらししました。ラジオから流れてくるわらべうた(童歌)、「春がきた」「でんでんむし」などを自己流で吹けるようになったのです。独学の練習が、自然環境の中で始まりました。煙の煤で汚れた部屋に春の陽射しが入り込み、ハーモニカに反射して光り、幼い自分を刺激しておりました。自分は、ハーモニカによって大自然を意識し始めたように思います。

やがて唱歌を吹けるようになり、外では村祭りなどで朴訥な人たちが歌う民謡に興味を抱くようになりました。民謡は、村の寄合の宴席で、皆で手を合わせながら唄う生活の一部です。「真室川音頭」「最上川舟歌」等、いつの間にか自分も一緒に唄っておりました。そんな縁もあり、ロサンゼルスでは男声合唱団に入団。時には敬老施設でレジデントと一緒に懐かしい歌を歌うこともあります。ハーモニカから男声合唱団に、歌の縁が広がりました。

歌は、年齢や性別、国や文化の違いを乗り越えて、人が持つ幸せの象徴です。傘寿を迎える自分が、合唱団で思い出の歌を歌っている。なんと幸せなことであろうか。天に感謝します。



写真俳句

井出半句



翔平の
打球高々夏燕

俳句のお陰でカリフォルニアにもツバメがいることに気づいた。ツバメは飛ぶものを追いかける習性がある。



吉岐の島
一番星へ烏賊釣火

長崎県のいきのしま。島根県の隠岐の島ではない。日が暮れるとイカ釣り船がライトを煌々と照らし一斉に域に出る。

1931年の満州事変から45年の敗戦まで、日本は戦時下にあった。戦時下には、戦争遂行に必要な人口資源の供給として家族に対し、所謂「産めよ殖やせよ」政策が打ち出された。我家も同様に7人兄弟であった。末っ子である私は一番家族に可愛がられて育つたらしいが、反面両親との生活、楽しみも短い間であった。母親とは比較的買物や親戚廻りに一緒について行った思い出はあるが、父とのそんな思い出は何一記憶に無いのだ。ただ、姉たちから父の生い立ちを聴いていたのは微かに記憶にある。それは、“父は宮大工として若いころからいい仕事をしており、熊本の温泉街に老舗の旅館を建てた”と話してくれた。私は若い頃から郷里を離れ、又国外へ出たこともありその事を追及することもせず歳を取ってしまい、今になって後悔していた。“駄目だ、元気な内に父が建てた建造物を見に行こう”と自分に言い聞かせて数十年経過。ロサンゼルス国際空港を出発し一路成田国際空港へ飛んだ。東京から東海道新幹線、“ひかり”号に乗り、途中大阪に立ち寄り、博多駅に着いた。長旅と高齢の為博多で一泊し食の街中州川沿いで鍋料理を食した。博多から九州新幹線“つばさ号”、通路側にゆったりと座ると、60分で熊本県八代駅に着いた。そこからローカル線、“肥薩(ひさつ)オレンジ鉄道”に乗り換え、約十分にて“日奈久(ひなぐ)温泉駅”に着いた。人影の少ない駅前通りを十分歩くと、古いが威風堂々とした老舗旅館“金波楼”と一目で認識できた。“これだ!”。夢にまで見た建物、木造三階建て旅館。



明治40年6月起工



金波楼

幸い、三代目の女将さんにお目にかかり内部を案内して貰った。明治40年頃は日本でも珍しくこの地域に20軒近く旅館が建ち並び一大温泉街になったらしい。日本全国から宮大工を呼び寄せ当時のお金で20,000円(現代の価値にすると約4億円)を投じ、用材は人吉より取寄せ、八畳敷の客室十八と玉突き場を置き、欄干と廊下は桜の木を使い、サンゴ屏風の絵、更に松、桜、椎など十五、六尺の巨木をわざわざ持ち込んで庭園を造る徹底した主、華北郡日奈久町の素封家松本諦三郎であった。(素封家=民間の資産家の意味)。

父がどの様に参加したかは判らないが、“のみ”、“カンナ”、“のこぎり”、“ハンマー”と腕一本で生真面目に一生懸命働いただろうと想像した。そのご、弱アルカリ性/単純泉の大浴場、露天風呂、大広間を改築、増築して明治のオリジナルを残しながら守り続け、平成22年には創業100周年を迎えた。当旅館には三笠宮殿下や高松宮殿下も昭和27年、



木造三階建て

35年に来館された記録がある老舗旅館で、平成21年(2009年)に国の重要文化財に認定された。



中庭

“やつと”自分の黒い目で父の誇る建物を見て、少しは父に出会えた人生最高に幸せな2023年の小春日和の日であった。



第三代目女将&宮里



肥薩オレンジ鉄道/日奈久温泉駅

みんなの広場

原爆

ラカウント 良子

私が小学生の頃(1952~)8月6日昼休み。毎年、ラジオで原爆に遭った日の様子を描いたドラマが流されました。とても悲しくて胸が押しつぶされそうでした。大人になって佐世保でお会いした年配の方が話してくださいました。8月9日、列車が着くたびに皮膚がただれ、洋服が真っ黒に焼けこげた人が折り重なるようにして運ばれて来た…と。誰も何が起きたのか理解できず、ただ病院に運んだ…と。長崎に原爆が落とされたと聞いたのはそれから数日後だったと…。

日本からロサンゼルスに移住した娘は2才であった。アメリカンスクールで英語を習い、私に英語のしゃべり方を教える子供。アサヒ学園にも通い（土曜日）小学、中学校まで習得した。

娘の作文を机の引き出しから出してみた。以下は娘、恭子が4年生の時に作文コンクールへ送ったもので懐かしい。

「作文」 わっはっはー



わたしは初めて落語をききにニューオータニホテルに行きました。かつらしじゃくさんの落語でした。この人は初めてアメリカにきました。英語で言えなかった言葉は日本語でいいました。「動物園」という題でした。一人の男の人が仕事を探していました。“あまり力をつかわない仕事” “頭を使わない仕事” “早く起きない仕事” “一日一万円のお給料が欲しい” の希望でした。— 途中省略 — 男は動物園の亡くなったタイガーのぬいぐるみを着てケージに入り、一番強いライオンとタイガーが喧嘩すると言われました。“どうしょう、どうしょう！” “助けて” と男は叫びました。するとライオンは「ばか、ぼく、社長だよ」と言い、皆はそれを聴いて“わっはっはー” と笑いました。最初は落語を聞きに行きたくなかったけれど、又行きたいなと思いました。



桂 枝雀

Google Image

みんなの広場

ラカウント 良子

“テレビ あるやつ？”



1960年中学の時、ある朝、先生が“テレビのあるやつ？”と質問した。私と製材所を経営している家の友達と二人だけが手を挙げた。私の家は裕福ではなかったが、なぜか父がテレビを買ってくれた。初めて見たのは「プロレス」だった。暴力的ですごいショックを受けた。近所の人々が外から見に来ていた。父はいつも窓を開けて“いっしょに！”と楽しんでた。1964年開催の東京オリンピックに向けてテレビは急に普及した。就職して東京に行った時はすでにカラーだった。



力道山 Google Image

ゴミのオブジェ

田村 純 トーランス

パロスヴァーデスのボタニック・ガーデン [South Coast Botanic Garden] には、4月1日～9月30日まで、海から出た大量のゴミを集めて素晴らしいオブジェの作品が展示されている。小さくはボトルのふたやら板切れやらあらゆるゴミが人によって投棄されているのに驚かされる。それらのゴミで作られた素晴らしいオブジェの数々、アザラシ、鷲、ラッコ、魚、タコなど15、6点の作品がある。近くで眺めていると、これらの作品の陰で如何に多くの心ある人々が労働と時間をかけて海洋生物を偲びながらご努力されて来られた事かと、そのボランティア精神に頭の下がる思いがする。この件は、或る州の、一高校生が「海を綺麗にして海の生き物を守ろう」と立ち上がったのが始まりというのはTVニュースで知ったが、あれはもう何年前だっただろう。

どうか一人でも多くの皆様に見て欲しいと思います。



いわゆるインスタントと言われるお味噌汁には今までのインスタントと最近良くと言われるフリーズドライがあります、フリーズドライは元々NASAが開発した技術で簡単に言えば宇宙食です。フリーズドライは宇宙飛行士の若田光一さんからの依頼で開発した物が市販化されたのがきっかけです。宇宙という限られた空間で長期保存と味の変化を抑えるという問題を解決したフリーズドライ製法のお味噌汁は非常に優れた食品で通常のお味噌汁と殆ど変わらない状態が再現されます、更にお湯を注ぐだけという簡単な製法が可能なのは一旦実際のお味噌汁を作ってそこから水分を抜くという製法なので今までのインスタントのお味噌汁とは味も格段に違いますし具材も家庭用のお味噌汁の様にしっかりとっております。

非常に簡単に出来るのであまり感しない方も多いと思いますが実際に作るお味噌汁と変わらないので是非一度フリーズドライのお味噌汁をお試し頂ければと思います。

醸造発酵食品は体にも健康にも良いのでお味噌汁を作るのが面倒と思っても最新の技術で作られたフリーズドライのお味噌汁でお腹の中の腸をリフレッシュさせてあげて健康を保って頂ければと思います。

フリーズドライの技術により今迄のインスタント味噌汁では無かったナスや白菜などの野菜のお味噌汁も可能となりましたのでお試し下さい。その際にはお味噌汁を飲んでいると思うと同時に宇宙食を食していると考えると面白いかと思います。

{記事提供：深澤ヒロ、GM/CFO、
Miyasaka Jozzo USA, Inc.}



固形フリーズドライ



フリーズドライお味噌汁

ドラフトビールの製法 ドラフトビールの美味しい飲み方

まず、ドラフトビールの定義とは何でしょうか？一般的に海外では、樽からサーバーを通してグラスに注ぎ出されたビールをそう呼ぶのですが、日本ではドラフトビール=生ビールという概念が強く、つまり熱処理をしていないビールのこと、実際は瓶や缶でも生ビールと呼ぶことができます。但し、ドラフトビールの定義は国によって異なります、興味のある方は是非調べてみて下さい。

次に、ドラフトビールの美味しい飲み方は、自宅で樽からサーバーを通してビールを注ぐことはあまりないと思いますので、瓶や缶でもより美味しくビールを楽しめるヒントをお伝えします。まず、第一にビールとグラスを冷蔵庫で（冷凍庫ではなく）冷やしておくこと。ビールが美味しく感じる温度は、日本で最も売れているビール（ラガービール）の場合、夏は4~6℃、冬は6~8℃、となります。次に重要なのは注ぎ方です。まず、高い位置からビールをグラスに注いで泡を作り出し、上部の粗い泡が消えたらグラスの縁からゆっくりとビールを注ぎ込む、最後にグラスの縁から泡が盛り上がるようにビールを注ぎ入れたら完成です。これで自宅にてもより美味しくビールを飲むことができます。

{記事提供：三ツ井ヒロ、GM, Asahi Beer USA}



美味しい注ぎ方



グラスの縁から泡が盛り上がるように

川柳投稿

二年ぶりペデキュアかざす八十路坂
 血圧を納得するまで測る俺
 平和への道のり険しウクライナ
 豊作を夢見て終えた田植祭
 聞こえない夫の耳に口を寄せ
 孫がきておやすみのハグ照れる僕
 虎刈りにされて怒らぬうちのポチ
 パントタイム生身があとを追いかける
 ポテトの芽くり抜き「ごめん」世継ぎ殿
 聴かれずにシニア割引またもらう
 雨多くポピー満開四年ぶり
 健康に気遣い減る食費
 細胞に言葉が触れて花ひらく

木村悠紀
 雨雨雨沙
 佐々恵
 若園芳美
 横田グレース
 LA ほっちゃれ
 さかえ五ー〇
 クニケイ
 ベビーシッター
 中根美季
 吉信二
 ウノマリ
 森田のりえ



遍ぺん草 作

絵手紙川柳



のりえ 作



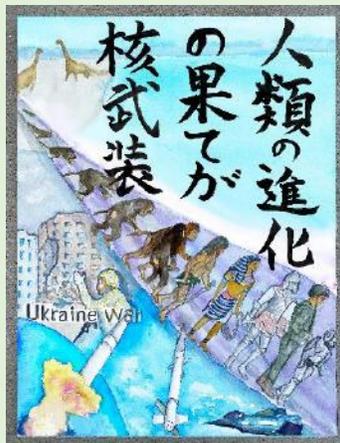
紀恵 作



ヒロ子 作



とんぼ 作



紫女 作



美季 作

「可愛い♡子供花嫁」衣装作り研修会

大川 敏子 California

徳島にお住まいのアーティストであり、美容師の山側（やまがわ）芳子先生（70歳代）から送られてきた写真に目を奪われました。古典柄の引き振袖とお揃い柄の角隠し、色打ち掛け、そして白無垢姿のお人形のように可愛い子供花嫁さん達の写真でした。さっそく先生にクラスの申し込みをいれましたところ思いがけなく「是非いらしてください」との許可をいただいて、その日のうちに飛行機のチケットを手配して一週間後には徳島へ飛びました。

徳島の「阿波おどり空港」から直行で訪れた先生の美容室は、3階建てのまるでお伽話にでてくるようなレンガ作りの洋館でした。お話を伺うと、ご自分のお孫さんはまだ1才半。可愛いお孫さまの花嫁姿を自分は見られないかもしれない。それなら今のうちに花嫁姿をみておきたい！そんなお気持ちから創作されたそうです。創作されたお衣装の数々は、「フォーカス徳島」「ナニコレ珍百景」のTV番組で紹介され「阿波おどり」のパレードにも参加されました。「可愛い♡花嫁さん」達の写真をお楽しみください。（全て写真掲載の許可を頂いております）



山側先生経営の美容室



心に残る受けた親切

“あんだ、年金生活やろ”

山下恵美子

コロナ感染も下火となり久し振りに日本を昨年の秋に楽しみました。高校時代からの大の仲良しのお友達が老人ホームに入っているので訪問に行った時のことです。老人ケアの行き届いているホームを羨ましくなるような所



でしたが、ただ一つ、駅から遠くて往復にはタクシーを使わねばなりませんでした。楽しい時間を過ごして、さて帰る時が来て受付の方にタクシーを呼んでもらいました。乗り込むとすぐに運転手さんが、“駅の北に着けますが、南口の方がよろしいですか”と聞かれるのです。私は“さあ”と濁していましたら、彼曰く“あんだ、年金生活やろ。少しでも安い方に行ったげるわ”と言われて駅の北口に着けてくださり、料金が行きより三百円も安くてびっくり。お人好しというか、世話好き、ノリの良い関西人らしい運転手さんでした。私も老人扱い



はいつもされていますが、年金生活者と気を遣ってもらっては初めてで後で大笑いしました。でも、心に何か温かいものを感じました。

バスの中での出来事

向日葵 北カリフォルニア

去年2022年、私は滋賀県の大津という所に滞在していました。大阪や京都からの帰りは最寄りのJRの駅からバスに乗って滞在先の古い友人の家に戻ります。11月の初め、もうすぐアメリカに帰るのでお世話になって友人に何かプレゼントをと思い、蘭の鉢植えを一つ求めました。駅前からバスに乗り込んだのですが、座る席がなく、蘭の鉢植えを抱えながら吊革にしがみついてバスの揺れと必死に戦っていたところ、前に座っていた年配のご夫婦がいて、奥さまの方が「持ちましようか？」と声をかけてくれました。

始めは少し驚きましたが、直ぐに嬉しくなり、お言葉に甘えて抱えていた蘭の鉢植えを持っていただくことにしました。それから、天候の話をしたりして、心にほのぼのとしたものを感じながらバスに揺られていました。降りる時は丁寧に敬礼を言い、和やかに別れました。もう二度と会う事のないであろうご夫妻ですが、見ず知らずの私に愛の手を差し伸べてくれ、私の心は温かいもので充ち溢れました。おそらく、私が反対の立場であっても同じ事をしたでしょう。

最近の日本は優しい人が減っているように思います。公衆の面前で人に親切にするのは恥ずかしいと思っているのかも知れませんが、世の中がだんだん冷たくなっているのです。なおさら勇気をもって自分から進んで善い行いをしたいとつくづく思いました。そして、親切を受けたら思い



切りの感謝の言葉で、その人の親切に報いたいと思いました。

悲しみも辛さも今は懐かしい思い出

大森照子

かわら版 15 号に紹介されていた土田三郎さんの「스팅パワー」を興味深く読まさせていただきました。実は長年住み慣れたサウスベイエリアを離れ、オレンジ郡に移り住んだ昨年末、長年苦楽を共にした主人の84年の人生に幕が下りました。長年の友人、知人に支えられ、夢中で今日まで来られましたが、いつまでも泣いておられないと計画を立て、だらだらと過ごさない、無味乾燥にならないよう食事も軽い音楽を流しながら頂く。また、車を運転中で長距離の場合は大きな声で歌を唄う（音痴でも他人に迷惑はかけませんし、眠気覚ましにもなります）。特に一人で居る時間が長いと顔の筋肉が凝り固まって無表情のままになってしまうのは良くないよ！と自分に言い聞かせています。気が付けばそうする声に依って元気になるのを実感します。

確かに笑顔に出会うとパワーをもらいますよね。その上、免疫力を高め、百薬の長と聞けば実行しない手はないです！



短歌

松永 典子（みちこ）

幼き頃独りが好きな子であった

そう想い知る吾という真実

炎上する車事故見て通過する

生きてることは奇跡なのかも



紫の季節……高貴な色よ

小倉二ナ California

6月の声を聞くと紫の季節！日本は梅雨入りで、紫陽花やあやめが咲き乱れます。我が南加では何といても真っ青な空に広がるジャカラングが一番、日本の桜に劣らぬ美しさです。

さて、この紫色は高貴な人、王族や貴族にしか許されなかった色だと知っていました？日本では聖徳太子が「冠位十二階」を定め紫の冠が最高位とし、その後の平安時代まで紫は天皇や朝廷の高官の色とされ、他の者は使用できませんでした。この時代、紫が最高位としたのは中国からの影響があり、その中国は遥かギリシャやローマの影響を受けていたのです。

聖書の中にもバビロンに連れて行かれたダニエルが王に次ぐ権威を与えられた時に紫衣を与えられたと書かれ、イエスも十字架につく前「お前はユダヤ人の王なのだから」と揶揄（やゆ）されながら紫衣を着せられた事が記録されています。

では何故、古代において紫布が権力と結びついたのでしょう？日本の場合は紫色を出すのにムラサキという植物の根を粉末にして湯に溶かし、何度も浸すという工程を繰り返すため、濃い紫を出すには途方もない時間と技術が必要でした。そして古代ギリシャの場合は地中海で採れる巻貝がとても貴重でした。この巻貝から取れる分泌液は極めて少なく、1gの染料を取るのに数千匹の貝が必要となる為、非常に貴重で高価なものでした。

当時この貝は Purpura(ブルプラ)と呼ばれており、紫を意味する Purple(パープル)の語源となったとされています。この貴重で美しい紫は歴代のローマ皇帝に愛され、自分以外がこの紫を纏うのを禁じたと伝えられています。現代では全て自由、紫の季節を大いに楽しみましょう！



ジャカラング Jacaranda

夏の思い出

~~ 泳げた!~~ 河野 弘子 California

子供の頃、私はとても親しい従妹の姉妹がいました。姉の方は私より3歳年下で、妹は6歳年下でした。家も近かったので、私たちは頻繁に会って遊びました。毎年の夏には従妹の父親が私も連れて海水浴に連れて行ってくれました。

泳ぐ機会が少なかった上、私は運動嫌いでしたので、浮き輪なしで泳ぐことがとても恐ろしく感じられ、いつも浅瀬で浮き輪にしがみついてポチャポチャするのが精一杯でした。お腹より深い場所には絶対に行かなかったほどの臆病さでしたが、「つかまえているから大丈夫だよ」と、叔父が下から支えて、泳ぐ真似をさせてくれました。水は私の胸くらいの深さでした。その時、ふわっと波が来て、一瞬体が浮いた瞬間に手を動かしたら、少し前に進むことができました。それでコツをつかみ、波に乗って手を動かして、少しずつ長い距離を進むことができるようになりました。「ほら、泳げた!泳げた!」と、叔父が褒めてくれて、自分でもとても嬉しかったです。足が着かない深さには行きませんが、それでもポンと足で海の底をけて、浮き輪なしで波にふわりと乗れたことは、私にとって物凄い達成感でした。それからは従妹たちと協力して叔父を砂に埋めたりして、本当に楽しい一日を過ごしました。

当時、私は9歳で、従妹たちは6歳と3歳でした。



帰る際、3歳の従妹が言いました。「今度は甘い海に連れてって」。その一言と共に、私の素晴らしい夏の日が完璧になりました。

1日おきの水泳昔元気今やっこ

黒沢 洋美 Beverly Hills



Google Image

サントリーニ島 烈子ボリンジャー

1997年から11年間、クエートのアメリカ軍機基地で夫婦ともに勤務していた時、クエートからアテネまでの直行便のフライトが4時間半と比較的



ブルードーム教会

近かったので、時間が取れると初夏によくギリシャの各地を回っていた。頻繁に行っていたのが紺碧の海に浮かんでいたサントリーニ島であった。古代に火山の大爆発で形成したカルデラ地形の一部で、現在も火山活動中。サントリーニ島はその外輪山にあたる島で、それぞれ個性に満ちたエーゲ海の島々の中でも一番美しく、何処をみても絵になる。



お土産屋

ホテルは、いつも便利でロープウェイやバスターミナルがあり、お土産屋、ギャラリー

やブティックも多いフィラ (Fira) に滞在した。日中は市内でショッピングを楽しんだり、景色の良いレストランで食事をしたり、大聖堂、博物館などを訪れ、断崖絶壁にたたず



Fira にて亡き主人と!

む白く美しい街並みやブルードーム教会も素敵。ここから港に降り、船で火山島に行ったり、南部にあるアクロティリ遺跡を訪ねたり見

どころ満載。カラフルなビーチがいろいろとあり、海水は火山島の生ぬるい水温以外は、真夏でも身体全体が硬直するほど冷たくみんな Sunbathin をしていた。夕方にはフィラからバスで北へ20分ほどで着くイア (Oia) に行き景色の良いレストランで夕食を取りながら、夕陽を浴びてピンク色に染まっていく白い街並みの美しい景色が見られ、サンセットを満喫。亡き主人とよく訪れていたロマンチックなサントリーニ島の美しさは決して忘れられない旅行先の一つであり、私の夏の思い出である。



今森 貞夫 ホノルル

温泉と魚介類の好きな小生。ましてや伊豆出身だから、全国のその道の情報ならと秘かに気にしていました。

先日、ゴールデンウィークが近づいてきたある日、娘と一緒に日本に行かないかと言うので、日本らしく有意義なものは何かと思い巡らしてみたのです。それなら日本の温泉だ！大分の別府だ！GO！

世界的なスケールの大きさ、誰もが知る有名処である。早速ネットで見ると、湯煙に街全体が包まれた映像が出現。画面には「ようこそ地獄へ」。更にス

クロールすると、別府市が丸として奨める「温泉地獄めぐり」：海地獄・血の池・竜巻・鬼山地獄……7か所をディズニーランドの3~4倍もあるらしい領域を、乗合バスは乗客を休みなく運んでいる。冒険を望んでいる客達には、所定のバス停で下車し、その名だたる温泉場の露天風呂に即直行。我々も粋がって、面白がり屋の心境でしょうか、少し匂いのする湯船にどっぷり浸かりました。この温泉旅行、父娘の楽しい思い出で作りでした。



赤えたがる粘土は、増えすぎて赤色。豊後風土記に「赤湯泉」と記された日本最古の天然地獄です。ここから産出する赤い粘土で、皮膚病に効く「血の池軟膏」が作られています。鉄温78度。



思い出の旅 - 京都

恵子 Martin

6年振りの我が町、京都。12歳からのお友達、20年ぶりで会った従妹たち。また、大学時代のお友達、40年間で今度の旅行が一番楽しかったように思います。弟の咽喉がんの術後、肺高血症で京大の診察にお供して若い先生に病状を聞きました。弟の住む西加茂は未だ畑がたくさんあり、青々と育ったネギ畑の横にバス停があり、毎回それに乗って町まで出かけ、あちこち歩いて楽しみました。今はバスだけでなく地下鉄も走り、以前とは違って大変便利になりましたが、路線が分からず弟のガイドなしには、私はまるで日本語を話す外国人旅行者のよう



京うちわ

でした。また、街中では、うちわを売っている店に入りました。とてもきれいなうちわで、まるで工芸品のようで、創業300年と言われました。西本願寺前にあるお友達の店も創業127年の念珠(じゆず)や、西本願寺の300年ぐらゐの大イチョウ、清水道の知合いの陶器屋さん、それぞれ

が存在感があり、まるで古都を守っているように思えました。最終日はお友達の息子さんに車で関空まで送っていただきました。数々のお友達からの差し入れなど本当に思い出深い旅行になりました。



まるで工芸品のうちわ

あの町、この町、あなたの街

旅日記—大阪

宮里かつ

コロナ感染も落ち着き、5月上旬に日本への入国規制が緩和されるのを期待し、3年半振りに一時帰国した。米国ではTSAの登録、日本側のVisit Japanの登録も終わっていたのでロサンゼルス空港出国でも、成田空港での入国も覚悟はしていたが意外にスムーズで驚いた。2週間余りを東京、大阪、郷里の福岡県と一人旅を満喫した。大阪は数十年前に訪問しただけなので今回は梅田と難波の繁華街を楽しんだ。東京は



梅田駅

長く住んでいたため数年来なくても“あ〜、新しいビルが増えたなァ”と感じる位だが、梅田・難波地域の近代的な開発と

街造り、人の出入り、商店街、飲食街には唯々驚かされた。“かに料理”“たこ焼き”“豚骨ラーメン”の食い倒れの街と言われる所以が理解できた。道頓堀沿いのかにの老舗には予約無しでは入れず落胆。また心齋橋の商店街にはブランド品、医薬品、衣料品店に外国人の訪問客が押し寄せて爆買い。“ここはどここの国？”と思え、自分は浦島太郎だなァ〜と思えた、と同時に“平和な国、安全な日本”でもあった。



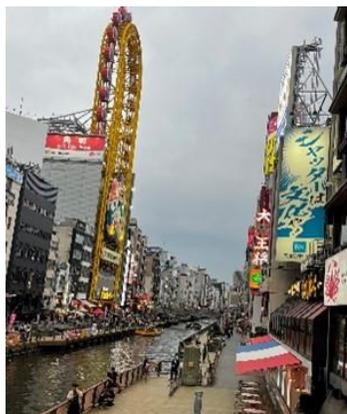
思い出の立川基地 & 米国南部

柴田智雄

私は小学6年の時に都内から片田舎の国分寺という町に引っ越し、隣町の国立にあった中学・高校へ通い始めたが、校舎の前でアメリカンスクールのバスを待っている生徒と話す機会を得た私は英語嫌いだった私の人生を180度転換させるものだった。立川米軍基地の兵隊家族と家族ぐるみの付き合いが始まり、私はいやおうなしに英語を学び始めた。彼らは東京オリンピックの1964年に帰国したが、私も日本の大学を卒業後、1ドル360円の時代に運よくフルスカラーシップでアトランタにある工科大学に入学した。ハワイ経由のプロペラ機であった。これを機にアメリカに50年以上居続けることとなる。当時の南部はまだ人種差別が色濃く残る時代であったが、私は南部の人々のホスピタリティを受け、学生時代の懐かしい思い出になっている。「風と共に去りぬ」の舞台となった緑豊かな田園風景のアトランタ、南部訛りの英語、今でも帰りたい第二の故郷となっている。



当時の関東村入り口、手前は甲州街道



難波のシンボル



道頓堀かに本舗



立川基地内の Commissary (販売所)

コロラド州 ビバークリーク

湊 陽子(86歳)

コロラド州ビバークリーク・スキーリゾートに4年ぶりに訪れた。いつも大変お世話になっている友人夫妻がスキーに行きたいとの希望で私のタイムシェアを利用して2月13日から18日の5泊6日を計画した。スキーをやりたい気持は持ち続けているが、骨折でもしたら大変なので諦めることにした。ホテルの窓から眺める雄大なロッキー山脈の雪山の展望。車で50分のところにあるGlenwoodの広大な温泉プールでアスペン在住の友人との再会を楽しんだ。



Glenwood 温泉/Feb. 15. 2023

亡き主人と毎年他州も含めて30年近くスキー場巡りを楽しんだ思い出多いスキーエリアである。最大の驚きはリフト券1日250ドル。シニアディスカウントは無く温泉プール1日券29ドルと全て値上がりして驚いた。

然し、コロナ禍の間にロッカーは新しく整備され、とても快適に過ごせた。

国内旅行の一人旅が不安な年齢になっているが、友人のお陰で行きたい所に来れる幸せを深く感じ有り難い境遇に感謝しています。

春の思い出 東京-四ッ谷に流れる川

渡里 啓子 マサチューセッツ州

私は生まれも育ちも東京育ちです。あまり自然に恵まれたとは言えない都会ですがそれでも春という思い出するのは四ッ谷に流れる川のほとりにある土手だと思います。桜とかでなく、教育熱心な母は、毎年春になると四ッ谷にあった出版社からドリルを買うため私を連れて行ったものです。帰る途中に土手に座って母とつくしんぼを探しました。見つけてどうって事は無かったのですが春の日差しを浴びて土手の匂いを嗅ぎながらそんな単純なひと時を思い出します。母は去年他界しました。



川越一小江戸と称ばれる街

住山 弘 埼玉県

昨夏帰国、日本の住まいを川越（埼玉県）に定めた。川越は「小江戸」と称され観光地として一年を通じて国内外から観光客が訪れ賑わっている。見どころは「日本百名城」に選定され城下町川越のシンボルとなっている本丸御殿、



時の鐘

だるま市で有名な喜多院、そこには三代将軍家光が江戸城から移築した家光誕生の間や春日局化粧の間などがあり徳川家とゆかりが深く重要文化財に指定されている。さらに周辺には成田山川越別院、日本三大東照宮の一つ仙波東照宮といった歴史的建造物があり、その中心に江戸時代に建てられたという時の鐘、蔵造りの街並み、一歩横道に入った菓子屋横丁には昔懐かしい駄菓子屋や団子屋、そして川越名物の焼き芋屋などが軒を並べて訪れる誰もが子供の頃に戻れるといったところ。通りを着物姿で歩く若者が目立つ。片手にスマホを掲げあちこちで自撮り、おそらくSNSのためのワンショットなのだろう。



川越祭り 10月

私の大好きな思い出の街 鎌倉

ソート美佐子 アリゾナ州

私が小学校の二年生の時、鎌倉の伯父の家に一時預けられました。伯父の家は鎌倉の駅の北側すぐ近くにありました。毎朝早く起きて伯父は私達従姉妹と私を連れて八幡様にお参りに連れて行ってくれました。小学校も北側にあり裏山に「大山すべり」と云って大きな滑り台がありました。休み時間になると友達皆で夢中になって裏山を



鎌倉の大仏

登り、その滑りに乗って滑りまくるのですがその壮快な気分は言葉で云い表せない程心ち良い気持ちで休み時間が来るのが待ち遠しかったです。運動の時間は先生に連れられて由比ヶ浜海岸まで行きました。お天気の良い日は素晴らしいきれいな富士山を見る事が出来ました。私が大人になり小学校の子供達を連れて日本に帰国した時、子供を鎌倉見物させて八幡様、大佛様（江ノ電に乗って）由比ヶ浜海岸に行きました。その時曇っていて富士山を拝むことは出来ず残念でした。



鎌倉駅

「かわら版」 17号のお知らせ

1. 発行予定日： 2023年12月15日
2. 特集： クリスマス・お正月のお楽しみ！（飲食物、パーティー、旅行）
2024年の“Wish”
私のお勧めグルメ（お料理、日本酒、ワイン、ビール、雰囲気）
あの町、この町、あなたの街 / 旅日記
一口健康・美容
みんなの広場（お便りコーナー）
仲間探し掲示板
3. 原稿締切： 2023年10月下旬

お知らせ

“秋の集い”の開催

期日：10月15日、日曜日、午前11時—午後1時

場所：New Gardena Hotel

1641 W. Redondo Beach Blvd., Gardena, CA 90247

会費：会員：\$25、非会員：\$30、お弁当・お茶付き

講演：“歯の予防” 成田真季歯科医師

* 太極拳 G.菊田インストラクター

* 余興 ウクレレ演奏

先着60名様限定（事前予約ない方は入場できませんのでご了承ください）

詳細は8月中に手紙・Emailにて送付致します。

寄稿・投稿のお願い

皆様からの寄稿及び投稿を送って頂き運営委員一同より厚くお礼申し上げます。三人の運営委員に依り原稿集め、整理、編集、校正の作業を行っておりますが、ボランティアの為時間と体力に限りがあります。かわら版発行を継続する為にも以下の事をお願い申し上げます。

1. 毎月の“特集”タイトルに相応しい或いはタイトルに近い寄稿、投稿
2. 出来る限り規定文字数の範囲内（多少の増減は構いません、こちらで調整いたします）
3. PCお持ちの方はWordにて、手紙の方は400字原稿用紙に楷書にて（原稿用紙無い方には郵送いたします）
4. 日付け、名前、在住町或いは州、Email address、電話番号の記載（整理の為）

編集後記

“適材適所”の意味を理解するには人生の後半になってからだ。元西鉄ライオンズ（現西武ライオンズ）監督の中西太は現役時代に首位打者二回、ホームラン王5回、打点王三回獲得した日本野球の歴史に残る偉大な選手であった。退団後数か所のチーム監督やコーチに就任したが日本一になることはなかった。然し、本人は自分の性格を自覚し、監督仕事は「決断すること」、コーチの仕事は「つくる」ことであると悟ったらしく、コーチとしてはいい仕事をしたい。世の中の万人が「社長」になったら自由経済社会は成り立たない。社長、財務部長、販売部長、秘書そして一般社員がいて会社組織は機能するのである。日本の中小企業で100名の社員にアンケートを取ったところ、70%が社長になりたくない。なりたくない理由の多くは“責任が重い”“気苦労が増えるだけ”だそうだ。偉大なスポーツ選手が監督やコーチに就いて必ず成功した、優勝する事とは別の事のような。 かつ

Funding for this project is partially supported by Keiro

チャランポランの会は、シニアの方々が生きがいを持って人生を楽しみ、健康で長生きすることを目的としています。シニアだからこそ言える苦言、提言、さらに社会奉仕まで 参加される皆様と一緒に考え、創り上げていく会です。

風に揺らんでいるチャランポランな葉っぱであっても、その木の根っこは長い人生を歩んできた分、どっしりと深く広がっているシニアの木。その「シニアのシニアによるシニアのための会報誌」がこの「かわら版」です。

今後のチャランポランの会と「かわら版」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

www.charanporanusa.com

写真提供： 会員の KM さん、California、2017 年 8 月撮影